

第9回 バリアフリー 演劇鑑賞会



実施日：令和6年7月14日（日）

会場：流山市文化会館（市民会館）

来場者：195人

概要・ねらい

バリアフリー演劇鑑賞会は、平成28年に施行された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（いわゆる「障害者差別解消法」）を機に、障害のある人もない人も、みんなが楽しめる演劇鑑賞会を作ろうと始まった高校演劇の鑑賞会。障害のある方も演劇を楽しめるように、様々なサポートを用意した。目の不自由な方には音声ガイド、耳の不自由な方には字幕表示、車いすの方が同伴者と一緒に鑑賞できるスペースの提供、盲導犬を連れている方には盲導犬と一緒に鑑賞できるスペースの提供、難聴者の補聴器や人工内耳の聞こえをサポートするヒアリンググループ席など、どなたでも舞台を楽しめるような環境を整えた。



バリアフリー 演劇鑑賞会

第9回バリアフリー演劇鑑賞会では、千葉県立流山おおたかの森高等学校演劇部の皆さんが出演し、「戦国SNS時代」を上演した。もし戦国時代にSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）があったら…。本作品は、そんな「もし」の世界を描いた物語。

当日は約200人の方が来場し、実際に目の不自由な方々も来場されたが、バリアフリー演劇鑑賞会では、障害のある方も演劇を楽しめるよう、様々なサポートを用意した。目の不自由な方は音声ガイドを利用して鑑賞

した。音声ガイドは、目が不自由な方にも演劇の情景、場面展開が分かるように台本を作成し、ナレーションを付けた。（ナレーションは、出演高校の演劇部員が台詞と重ならないように、舞台進行と同時にいった）

耳の不自由な方のため、舞台中央上部に字幕表示を投影した。字幕表示は「セリフを聞き逃した時に確認できて良かった」と障害のない方にも好評であった。

演劇出演者・会場受付・障害のある方の案内（サポート）は、千葉県高等学校演劇部第一地区に所属する高校生がボランティアとして参加した。障害のある方のサポートの知識を学ぶ場として、事前にバリアフリー研修会を行った。



バリアフリー 研修会（同時開催）



研修会は、バリアフリー演劇鑑賞会を共催する流山市社会福祉協議会の方を講師に迎え開催した。

対象：会場受付、障害のある方の案内（サポート）で参加する高校生。

内容：白杖を使用している方（視覚障害のある方）や車いすを利用している方（肢体不自由の方）が、安全に演劇を鑑賞できることを目的として、実際に来場し、座席につくまでを想定。白杖の方への声のかけ方や車いすの方の介助について学ぶ機会とした。

白杖の方への対応は、講師の方々のロールプレイングを見学した。車いすの介助は、実際に学生が介助する人・車いすに乗る人のペアに分かれ、市民会館内スロープを上り下りし、講師からの注意点等の説明を受けた。

参加した学生からは、「障害者の方への接し方を学べて勉強になりました」や「声かけの方法や介助の仕方を知り、勇気を出して声をかけることが大事だと思いました」などの感想があった。※参加した学生にはボランティア証明書を発行した。



成果 ……音声ガイドの台本を工夫したことで、目の不自由な方から、今年の音声ガイドはわかりやすく良かったとの感想をいただいた。バリアフリー研修会を開催したことで、障害のある方のサポート方法を学び、実際に来場者へのサポートがスムーズに行えた。

課題 ……ボランティアで参加する高校生が少ないため、参加者が増えるように呼び掛けていきたい。誰でも楽しめる演劇鑑賞会ということを宣伝し、来場者を増やすことが課題である。